

様式1 (視察用)

## 会派行政視察報告書

平成30年度会派 青雲倶楽部 の行政視察研修を、平成31年1月30日(水)から2月1日(金)の2泊3日にて執り行いましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

平成31年3月26日

名取市議会議長 丹野政喜様

会派名 青雲倶楽部

代表 相澤祐司



### 記

- 1 期 日 平成31年1月30日(水)～2月1日(金)
- 2 参加人員 3名 議員 相澤祐司、議員 郷内良治、  
議員 山田龍太郎
- 3 視察先 (1) 静岡県伊豆市  
(2) 静岡県富士市  
(3) 静岡県熱海市
- 4 行程表 別紙のとおり
- 5 調査事項 別紙のとおり
- 6 所 感 別紙のとおり



# 平成30年度 青雲倶楽部視察研修行程表

日程	行程	視察先及び視察項目	宿泊
平成 31年 1/30 (水)	東北本線 名取(8:1発)⇒(8:04着)仙台(8:16発)⇒(9:47着)東京(10:26発) こだま647号 ⇒(11:22着)三島(11:38発)⇒伊豆箱根鉄道駿豆線 ⇒(12:13着)修善寺 伊豆箱根鉄道駿豆線 昼食……………伊豆市議会視察……………修善寺(15:50発)⇒⇒⇒(16:24着) 13:30~15:00 東海道本線 三島(16:45発)⇒⇒⇒(17:01着)熱海(17:07発)⇒⇒⇒(17:31着)伊東(宿泊)	<b>静岡県伊豆市議会</b> 所在地 伊豆市小立野38-2 電話番号 0558-72-9906(事務局) 調査項目 1 日本サイクルスポーツセンターについて	<b>ホテル暖香園</b> 所在地 伊東市竹の内1-3-6 電話番号 0557-37-0011
1/31 (木)	伊東線 伊東(9:31発)⇒⇒⇒(9:55着)熱海(10:16発)⇒⇒⇒(10:55着) 東海道本線 富士……………富士市議会視察……………富士(16:40発)⇒⇒⇒(17:27着) 13:30~15:00 昼食・送迎 送迎 熱海(宿泊)	<b>静岡県富士市議会</b> 所在地 富士市永田町1丁目100 電話番号 0545-55-2878(事務局) 調査項目 1 ふじさん青春マイレージについて	<b>熱海 金城館</b> 所在地 熱海市昭和10-33 電話番号 0557-81-6261
2/1 (金)	9:30~11:00 送迎 ホテル……………熱海市議会視察……………熱海(13:33発)⇒⇒⇒(14:49着)東京 やまびこ57号 (15:36発)⇒⇒⇒(17:37着)仙台(17:42発)⇒⇒⇒(17:56着)名取 こまち6号	<b>静岡県熱海市議会</b> 所在地 熱海市中央町1-1 電話番号 0557-86-6644(事務局) 調査項目 1 空き店舗活用事業について	

1月30日  
静岡県伊豆市

一般財団法人日本サイクルスポーツセンターの概要と  
伊豆ベロドロームの建設経緯について

沿革

一般財団法人日本サイクルスポーツセンターは、昭和40年6月、当時の文部省並びに通産省の認可を受けて設立され、昭和46年8月、伊豆修善寺に開設して以来、「自転車を中心とした生涯スポーツ施設」を目指し、自転車競技の振興と自転車の普及促進に尽力してきた。

- ・敷地面積186万坪・競輪学校併設
- ・平成24年12月「財団法人」から100%出資子会社「一般財団法人」へ移行

近年においては、地元行政との連携により“サイクルメッカ伊豆”の実現に向けた取り組みを行う一方、国際自転車競技連合が提唱するワールドサイクリング構想の一翼を担うアジア地区の拠点「コンチネンタル・サイクリング・センター修善寺」として、日本ばかりか、アジアにおいても自転車協議会の中心的な役割を担っている。

また、平成21年6月付で文部科学省から「ナショナルトレーニングセンター自転車強化拠点施設」の指定を受け、同省と施設活用事業に関する委託契約を締結し、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設としての活動も開始した。

「ナショナルトレーニングセンター」は、我が国のトップレベル競技者の強化・育成活動の充実を図るための施設であり、中核施設である東京都北区西が丘のナショナルトレーニングセンターと24の競技別強化拠点施設とから構成されている。

このうち競技別強化拠点施設は、冬季競技、海洋・水辺系競技、屋外系競技及び高地トレーニング等、中核施設では対応出来ない競技について、既存のトレーニング施設の中から拠点施設を選定し、中核施設とのネットワーク化等、施設の高機能化に係る事業を実施することにより、トップレベル競技者が、より質の高い育成・強化活動を行うことが可能な環境の整備を図ろうとするものである。

現在、サイクルスポーツセンターには、ロード競技の出来る5キロサーキット・2キロサーキット・クリテリウムコース・、トラック競技のできる400

メートルピスト・333メートルピスト・250メートルピスト(屋外型)BMX競技の出来るMTBコースが完備されており、オリンピック競技大会における自転車競技4種目は全て訓練並びに体験が可能となっているほか、変わり種自転車・サイクルモノレールを始めとする自転車体験型施設や多目的ホール(ウエトトレーニング場と室内フットサル場)・体育館等の健康増進施設も取り揃えている。

これらに加えて、オリンピック競技大会や世界選手権大会等世界レベルの大会が屋内型板張り250メートルで開催されている現状を鑑み、自転車トラック競技の普及と日本人選手の国際的競技力向上を図るとともに、サイクルメッカとしての地位を確固たるものとし、地域スポーツを牽引していくため、競輪公益資金の補助を受けて、伊勢21年度から屋内型板張り250メートルトラック「伊豆ベロドローム」の建設を進め、平成23年9月に竣工・同年10月から運営を開始した。

## 考 察

屋内自転車競技場としての施設は唯一伊豆市に限定されることと、東京会場近郊都市として、2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技会場として開催準備に、県と県内市町村と連携した取組中とのことでしたが、開催前・開催中での観光客減少が想定され、対策が課題とされている。

本市におけるサイクリングセンター復興は、規模としては比較にならないが温泉を併設した施設として再開するが、市内外の利用者に年間を通しての魅力ある施設づくりと、集客の仕掛けを模索した企画にいかしていきたい。

## 事業内容

### 1. サイクルスポーツ施設の運営等に関する事業

#### (1) サイクルスポーツ施設の運営

5キロサーキット、MTBコース、伊豆ベロドローム等の自転車競技施設

#### (2) 屋内スポーツ施設の運営

室内フットサル場及び体育館等の屋内スポーツ施設

#### (3) 野外活動施設の運営

野外活動施設 DAYキャンプ場

#### (4) 合宿所サイトの運営

年間を通じて競技大会及び自転車・スポーツ合宿の宿泊者がメインターゲット

#### (5) その他の事業

自転車競技施設及びトレーニング施設の貸与、各種自転車及び関連機材の貸出しを行っているほか、2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に向け設置した自転車展示コーナーを設置し、競技用自転車やオリンピック関連情報を提供することにより、機運醸成を図る。

### 2. 自転車競技及びサイクルスポーツ等を普及促進する事業

#### (1) アジアサイクリングセンターの運営

国際自転車競技連合（UCI）におけるワールドサイクリングセンター（WCC）構想のもと、日本を含むアジア各国の自転車競技連盟から推薦を受けた将来有望なトラック競技者や指導者を集め、基礎的な訓練研修を行い、世界選手権やオリンピックで活躍できる選手の育成を図るコンチネンタル・サイクリング・センター修善寺の運営を行っている。

ア. 国内トレーニングキャンプ

イ. 海外トレーニングキャンプ（移動サブセンター）

#### (2) 自転車競技大会及び合宿の開催と受入れ

##### ア. 自転車競技大会

5キロサーキット、伊豆ベロドロームを始めとする本センター所有施設を活用し、5時間耐久チームサイクルロードレース大会やトラック自転車競技大会等の各種自転車競技大会を企画・開催するとともに、他団体が主催する様々な自転車競技大会を招致し、その開催に協力している。

[平成29年度実績]

主催大会：開催件数12件 参加者1,441名

他団体の大会：開催件数38件 参加者：7,279名

##### イ. 自転車競技合宿

ナショナルチームを始め、大学や高等学校の自転車競技部、各種自転車競技団体等、自転車競技者を誘致し、5キロサーキット、伊豆ベロドローム等での合宿を受け入れている。

[平成29年度実績]

延べ315件2,521名

#### (3) 伊豆サイクルスポーツクラブの運営

本センター独自に伊豆サイクルスポーツクラブを運営し、毎月4回トラック・ロード競技の活動を行っている。

- (4) 自転車競技体験キャンプの開催
- ① 子供のためのトラックキャンプ  
対 象：小学生・中学生
  - ② 大人の為のトラックキャンプ  
対 象：20歳以上のトラック競技愛好者
- (5) 自転車スクールの開催
- ・ 自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の乗り方教室（年4回）
  - ・ 小学生を対象にした日帰りの乗り方教室（年4回）
  - ・ 初心者向けのスポーツバイクスクール（年2回）
- (6) 各種イベントの開催
- ア. 自転車普及イベント
- ・ 3時間耐久一輪車レース大会（6月）
  - ・ 新春静岡県一輪車競技大会（1月）
  - ・ 静岡オープン一輪車駅伝（2月）
- イ. スポーツ健康事業
- ・ 春の山菜採り健康ウォーキング（4月）
  - ・ CSC フットサル1 Day ナイトリーグ（5～11月：3回）
  - ・ 伊豆サンタマラソン（12月）
  - ・ CSC フットサル山のカップビギナーズ（2月）
- (7) 自転車競技の地域普及啓発活動
- 伊豆地域における自転車競技の普及啓発に努めるほか、三島市が主催する「みしまジュニアスポーツアカデミー事業」や静岡県自転車競技連盟が主催する「ジュニア育成強化事業」等への指導協力。
- (8) ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点施設の活用
- オリンピック・パラリンピック競技におけるNTC自転車競技強化拠点施設として、スポーツ庁との委託契約に基づき、ナショナルチームの強化やジュニア競技者の計画的な育成を行うための施設の優先・専有利用及びトレーニング施設の競技条件の向上、科学的なトレーニングを行うための医科学サポート並びに情報ネットワークの構築等、競技力向上のための活用事業を行っている。
3. サイクルスポーツに必要な自転車等に関する研究
- ・ 各種自転車に関する調査研究等
4. サイクルスポーツ施設に付帯する施設等の運営に関する事業
- (1) 自転車関連施設・遊戯施設の運営
- ファミリーサーキット、おもしろ自転車、サイクルモノレール等の自転車関連施設及びサイクルコースター、スカイローラーを始めとする遊戯的施設等の運営。
- (2) 集客イベントの開催
- ・ 繁忙シーズンにおける、子供向けキャラクターショーやお笑いライブ等話題性の高いイベントの開催等。
5. 飲食等付随するサービス事業
- 飲食及び物品販売事業の実施。

# 報 告 書

## 静岡県 富士市の概況

富士市は、日本列島太平洋岸のほぼ中央、静岡県東部の西端に位置し、世界に名高い霊峰富士の広大な南麓の大部分と愛鷹山山麓の西部に接している。

また、古から製紙産業が盛んで「紙のまち」として成長し、その後、紙パルプのほか化学、電気機械産業などの産業が発達してきた。

東京へは146 km、大阪へは410 kmのところであり、富士山を仰ぎ見る交通の要衝として古くから栄えていた。現在では東海道線、新幹線、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号線などが市内を横断し、わが国の産業・経済を支える動脈網を形成している。気候は温暖で風光明媚、豊富な緑と地下水に恵まれ、数多くの歴史的文化遺産を有している。

市制施行 昭和41年11月1日  
(吉原市、富士市、鷹岡町が合併)

合 併 平成20年11月1日  
(富士市、富士川町が合併)

面 積 244.95 km<sup>2</sup>

人 口 総人口 254,203 人  
(平成30年4月1日) 男 125,777 人  
女 128,426 人  
世帯数 104,646 人  
一世帯当たり 2.43 人

## ふじさん青春マイレージ事業について

### 1. 事業の目的

何歳になっても心豊かにいきいきと暮らし、未来に向かってチャレンジする意欲を持ち続ける市民のまちづくりを目指して「生涯青春都市 富士市の実現」を市政運営の一つの柱に掲げている。市民が生涯青春を謳歌できるには健康が基本と考え、市民自らが健康に関心を持ち意欲的に健康づくりに取り組むことを目的として実施している。

## 2. 取組の動機

静岡県が独自に算出した「お達者度」の当市順位が低位であることから、市民1人ひとりの健康行動を後押しし、市民の生活習慣等の改善を目指す必要があったためとしている。

### <ふじさん青春マイレージ事業>

事業開始平成27年4月1日～

- 目的 市民の健康づくりや疾病予防のための生活習慣改善の取り組みと、積極的な社会参加を促すことで、日々いきいきと生活する青春度（健康度）の向上を図ることを目的とする。
- 内容 運動や食事などの健康づくりのための行動と、地区行事やイベント・ボランティアなどの社会参加を行うことで、日々のポイントを積み重ね、規定のポイントに達した人が特典を受けられる制度である。
- 対象 20歳以上の市民（在勤・在学含む）
- 方法 ①ふじさん青春マイレージシートに記入。  
シートは、フィランセ（公的施設）各まちづくりセンター  
市役所保健医療課等で配布。  
②専用ウェブサイトで登録・記入
- 広報活動
  - ・ 広報、地区回覧、報道機関を利用
  - ・ ポスター掲示（市内各町内会、公共機関等）
  - ・ フィランセ（公共施設）西館玄関ホール常設展示
  - ・ 富士市ウェブサイト：くらしと市政トップページに専用バナー設置
  - ・ イベントでの啓発  
（博覧会、健康フェスティバル、健康まつり、スポーツ祭、各地区文化祭、環境フェア等）
  - ・ 富士市健康事業並びに関係各課事業での啓発
  - ・ 健康推進員、市内事業所、各種団体、市職員等への働きかけ



平成 29 年度実施内容を例に上げると

#### 内容

- ・チャレンジする健康づくり行動を 2 つ決める。内一つは「動く」で設定し、目標行動を実施するごとに 1 ポイント付与。
- ・「青春度指数のチェック」、「検（検）診の受診」、「社会活動への参加」をすると 1 回につき 5 ポイントのサービスポイントを付与。
- ・ 50 ポイント以上貯まったら特典の申請が可能。（概ね 3 週間程度）

#### 特典

- ① 申請者全員に、県内の協力店舗で各種サービスを受けられる「ふじのくに健康いきいきカード」を配布（利用期限は交付日から 1 年間）
- ② 抽選で 190 人に景品贈呈。抽選は 9 月と 2 月の年 2 回実施。
- ③ 2 回の抽選でもれた方を対象にチャンス賞として 38 名に景品を贈呈。

#### 期間

- ・平成 29 年 4 月 15 日から平成 30 年 2 月 15 日まで（10 ヶ月間）  
提出締め切り / （第 1 回）9 月 15 日 （第 2 回）2 月 15 日

ふじさん青春マイレージ事業に参加した市民に与えられる特典

「ふじのくに健康いきいきカード」、50 ポイント貯まるともれなく全員もらえる。

ふじのくに健康いきいきカードを県内の協賛店舗で提示すると、ソフトドリンク 1 杯サービス、飲食代 5% オフなどお得なサービスを受けることができる。9 月末現在、市内では 54 店舗が協賛店舗となっている。

富士市役所担当課としてもサービスを提供していただける商工業者へ協力店として参加、加入の働きかけを行っている。

静岡県のマイレージウェブサイト到店舗の情報の掲載を依頼したり、協力店のポスター作成、それを（出来上がったポスター）店側へ提供、さらに富士市では独自に協力店の提供していただけるサービスの内容や写真などを載せたパンフレットを作成し、各施設にファイルしたものを常備展示（そなえ置）。

協力者として期待できる効果としては、市民の出入の多い保健生活課のある公

共施設（フィランセ）において「青春マイレージ事業」への参加を促す工夫をしている。

上記でのべた協力店の提供サービスや写真などをファイルしたものを来館者に手に取ってもらっている。協力者側にすれば新規顧客の獲得につながる可能性があるし、利用する側とすれば、サービス提供店舗の情報をより解りやすく見ることができる。また、店舗にポスターを掲示することで店舗の健康意識の高さをアピールできる。

#### ふじのくに健康いきいきカード発行数

	延人数	実数
平成 27 年度	983 人	685 人
平成 28 年度	1,293 人	709 人
平成 29 年度	1,380 人	809 人

参加している年齢層でいえば3年間とも50代60代の取組が顕著である。

過去3年間の実績であるが、急激な伸びは見られないが僅かずつではあるけれど市民へ浸透して来ていると思料される。

## 考 察

「ふじさん青春マイレージ事業」この事業の普及活動には、各町内会より推選推薦される「健康推進員」の役割が重要なかわりを持ち、また大きな貢献、実績を残している。(市内に347人)

健康推進員活動の内容、目的としては市が行う保健事業の円滑な推進及び、市民の自発的な健康づくりの推進を図る。市の施策を進めまた市民の意見をフィードバックさせる役目でもある。

名取市といわず全国的に共通の課題である、高齢化への対応、嵩む高齢者の医療費を圧縮するための健康教室、健康体操、食生活指導等々さまざまな施策が行われている。健康で長生して医療費の削減につながるという理想である。富士市で取組んでいる「ふじさん青春マイレージ事業」に市民が自主的に取組み、そのおまけに特典として、地域の協力店となっている商店からサービスを受けることができたり、また抽選により特産物がいただけたりと取組への意欲を促す方法は我市としても一考すべきである。

富士市では私たちの視察対応して下さった富士市保健部健康政策課健康推進担当専門員中村弘一氏、同担当新藤千津子氏には大変お世話になりました。

2月1日

静岡県熱海市 「空き店舗活用事業について」

## 沿革

江戸時代、多くの大名が湯治に訪れ湯治場として発展した。初代将軍徳川家康が熱海を湯治で訪れて以来、徳川家に将軍御用の「御汲湯」として湯桶に入れた温泉を江戸城に献上していた。

現在、熱海<sup>の</sup>の中心市街地は空室率 23 パーセントと 4 分の 1 も空き物件があり、熱海は 50 年人口が減少し続け、また、主要産業である観光産業も 50 年観光客が減少し続けるなど衰退を続けている。

## 熱海リノベーションまちづくり構想について

副市長を中心に「リノベーション等に関する政策検討会」

市長、施設企画室、産業振興室、まちづくり課

### 1 都市経営の構造、課題の整理

(1) 特徴的な人口動態→若者向けの仕事・住居

(2) 税収を稼ぐ→投資価値の向上

(3) 空き物件→まちの有効活用

以上のような都市経営課題を同時に解決していく目的組織

### 2 空き物件対策の構造とポイント

本質的には、入居者（テナント）よりも所有者（オーナー）の問題であり、経営の成り立つ、採算の成り立つ活用でなければ本質的解決にならない。採算を成立させるには、初期投資・固定費の低減が必須であり、同時に採算を成立させ得る売り上げを確立しなければならない。

## 熱海市空き店舗活用事業補助金

対象者→市内で空き店舗を活用して事業を行う者

補助対象

①改装費→市内業者が行う内外装工事に要する費用

②家賃→賃借料対象経費の 3 分の 1（最大 40 万円まで）

実績

これまで 13 件の申し込みがあり、採択されたが、半数くらいは廃業している。原因は補助があるからやってみたや、下調べをせず、計画的ではなかった等が要因と見られた。

## 考察

名取市においても中心市街地の衰退で空き店舗が多くなり、大きな課題であると捉えている。まちづくりを推進するためのキーとして家守会社が大変重要で、豊富な地域資源を活用していく推進役を果たすため、まちづくり事業を行い収益を上げ、収益が積み上がったなら、それをまちに再投資していく民間自立型のまちづくり会社との連携が不可欠と考える。

名取市の今後の取り組みとして、民間主導で遊休化した不動産という空間資源と潜在的な地域資源を活用して民間自立型プロジェクトを興して地域を活性化させる。そして補助金にできる限り頼らない地域経営課題を複合的に解決すべきと考える。



